

## 平成22年度第4回原村振興計画審議会 会議録

- 1 開催日時 平成23年2月15日（火）午後1時30分から午後5時10分
- 2 場 所 原村役場201会議室
- 3 出席者 委員11名（欠席者：五味勇吉委員）
- 4 説明者 農林商工観光課長、建設水道課長、村づくり戦略推進室長  
（事務局：企画係伊藤・小林）

### 5 審議内容

(1) 開 会 池律子副会長

(2) あいさつ 木下貞彦会長

#### (3) 協議事項

①第4次原村総合計画後期基本計画（案）の第4節・第1節の審議

**木下貞彦会長** 項ごとの説明だと時間がかかってしまうので、第4節第2項から第6項を通して説明してください。

**小林課長** 資料4に基づき第4節第2項から同節第6項を説明。

**木下貞彦会長** ご意見等ありますか。

**五味光亮委員** 4-2-5の現状と問題点に、台湾・韓国などヘインバウンド事業とあるが、中国を加えたほうがよいのでは。

**事務局伊藤** 現状と問題点及び今後の方向性については、第4次原村総合計画基本構想策定時の状況を記載しているので修正できない。加えるのであれば、変動要因か具体的施策を修正することとなる。

**小平雅彦委員** むしろ、国を限定する必要はないのではないか。

**小林庄三郎委員** 4-2-2の観光と農業の連携について、以前は農家との連携がうまく行かなかったが、どのように進めるのか。

4-2-4の施策目標の観光入込客数と4-3-1の八ヶ岳自然文化園、もみの湯利用者数が異なっているが、その理由は。

4-2-5について、インバウンド事業の問題点は。

**小林課長** 観光と農業の連携については、八ヶ岳自然文化園が中心となって集荷システムを構築するために供給側の調査をしたところ、20数件と契約することができた。収穫体験の可否を確認中であるが、可能と回答いただいたところもある。ペンションオーナー、農家及び都市部の人との三者協定を模索している。

4-3-1の八ヶ岳自然文化園、もみの湯利用者数には地元住民を含んでいるが、観光入込客数には含まれない。

4-2-5について、富裕層の外国人観光客はバス・トイレ付きの部屋を必須としているが、これらが整っている宿泊施設が不足している。東京と京都を結ぶゴールデンルート以外に、中央自動車道をサブルートにできるような取り組みを行なっている。

**五味光亮委員** 4-2-5のインバウンドは、受け入れができないというか消極的。

八ヶ岳観光圏について、小淵沢町は市町村合併により北杜市となりぼけてしまった中で、原村に何をしに来てもらうのか、目玉がない。

**木下貞彦会長** 目玉を計画で記載できればよいが難しい。

**五味光亮委員** 農場は人気があるので、前面に出してみたらどうか。

**小林課長** 車で来ない人と来る人に分けて考えたい。車で来ない人には、施設を結ぶ森の小径を整備し、歩いて体験していただく。車で来た人は、蓼科や北杜市など近隣市町と連携したプランを提案していきたい。また、原村からは八ヶ岳の8つの峰すべてが見えることもPRしていきたい。

**池律子副会長** 阿久遺跡との連携を考え、縄文人が見た山としてPRしたらどうか。

**木下貞彦会長** 春の空はエメラルドグリーンに見える。天気がよければ稜線がきれいに写って写真によく写る。

**木下厚委員** 農場のイメージは強いが、自然を楽しむだけでは観光客は来ない。イベントとの組み合わせが必要。農場とタイアップしてイベントを多数企画すべき。

**五味光亮委員** 外国人観光客は有名な所に行くが、宿泊はどこでもよい。

**木下貞彦会長** 以上を計画に反映できないか検討する。

**小池啓男委員** 原村の資源を見るときに広い視野が必要。2-3-1に記載されている教育関係施設との連携も必要。郷土資源の活用も必要。

**小林課長** 連携して取り組んでいきたい。

**木下貞彦会長** 文化園で土器を展示してもよいのでは。

**小林庄三郎委員** 原村だけの集客は難しいが、宿泊の拠点でもよいのでは。農場や夏場の農業との結びつきが重要。欧米ではキャンプを好むので、必ずしも部屋にバスやトイレがなくてもよい。

**小林課長** アイディアを出していきたい。

**小平雅彦委員** 文化園の位置づけを十分考えていかなければならない。特に、リーベでは原村産の新鮮な野菜が食べられるなどの取り組みで、農作物をPRしてみてもどうか。文化園を核とした農産物の発信も重要。そこでプランを提供することは意義がある。4-5-2で、特産認定制度を設けるのはよいが、検討しますは消極的。検討ではなくもう一歩進める表現にしてほしい。

**小林課長** 現在、リーベでサラダバイキングなどを企画している。

**木下貞彦会長** 色々なニーズにあった野菜の提供が必要。契約ほ場も必要では。

**池律子副会長** 味わっておいしければ買っていくし、リピーターになる。おいしく食べさせる工夫も必要。こる必要はなく、素材のよさが重要。

**小林課長** 通販もPRしていきたい。

**長谷川寛委員** 観光協会の弱体化が進んでいるのでは。体質強化を図るためには、行政のテコ入れが必要。お金だけ出せばいいというものではない。組織内部の問題もあったかもしれないが、まとまらないと活力が出ない。他の観光協会を調べてみることも大切。行政は、組織がまとまる環境づくりをすべき。

**小林課長** 現在、観光協会に66事業所が加盟しているが、うち宿泊施設は29施設。誘客の問題ではなく、宿泊部会年会費6万円の負担も大きい。「観光協会は宿泊施設の環境整備

だけをすればよい」という考え方もあり、足並みがそろわない。利益誘導できるよう働きかけたい。

**長谷川寛委員** 利益誘導が公平に行き渡らなかったことが原因と聞いている。どうあるべきか問うことから始める必要がある。行政は、よく話を聞いてほしい。

**木下貞彦会長** 「はらむら物語りで紹介されているから観光協会に入らなくてもよい」という声があるが、誰がリーダーシップをとるのか。

**小林課長** 村全体を紹介するものも必要。チラシは村も作る。

**鎌倉光彌委員** 4-2-3について、ミヤマシロチョウの生息場所については調査中であるが、限られてきている。生息するための森林整備が必要となっている。間伐を兼ねた体験学習はできないか。

**小林課長** デリケートな問題もある。

**木下貞彦会長** 森林の目的をもう一度考えてみる必要がある。計画には記載せずに、参考意見としたい。

**五味光亮委員** 4-2-3について、長野県は「長寿の県」を基本に森林保全や産業振興を考えている背景がある。

**小林課長** 森林の保全と資源の活用については、4-1-7で記載している。企業や学校など、都会の人たちと連携して進めていきたい。

**池律子副会長** 4-2-3①について、「天竜川の源流」と書いた方がよいのか。天竜川下流域の人たちを対象とした交流を考えてはどうか。

**小林課長** 愛知県方面には「天竜川の源流」としてPRしたい。下流に限らなくてもよいと考える。

**小池啓男委員** 根羽村では、下流域の人たちと交流している。交流を促進している都市に絞ってもよいのでは。

**池律子副会長** 川と海との連携を考えてみてもよい。

**小池啓男委員** 4-4-2について、企業誘致の補助金は見直した方がよい。色分けに大した根拠がない。

**池律子副会長** 空いている区画はどの位あるのか。

**小林課長** 日本電産三協の区画がある。

**木下貞彦会長** その他にご意見等がなければ第4節の審議を終了します。(なし)  
(休憩)

**木下貞彦会長** 再開します。第1節第1項から第4項まで説明してください。

**鎌倉課長・小林課長・細川室長** 資料4に基づき第1節第1項から同節第7項（消防室分を除く）を説明。

**木下貞彦会長** 第1項から第4項まででご意見等ありますか。

**小池啓男委員** 1-1-4のポイ捨て防止について、4月1日から不法投棄防止条例が施行になる。条例の周知や広報を計画に明記した方がよい。1-1-4の②と1-1-6に追加することを検討してほしい。

**五味光亮委員** 1-1-6について、ペットのフン、特に夜の散歩のマナーが悪すぎる。通学路や道路に面している家の木戸口はフンだらけ。飼い主に対して何かできないか。

**鎌倉課長** 不法投棄防止条例の中にフンも盛り込んであるので、周知する。

**小池啓男委員** 看板の設置など、効果的な取り組みを行なっているところもあるので、調べてみてはどうか。条例の周知をぜひお願いしたい。

**五味光亮委員** 計画はこれでもよいが、どのようにして被害を減らすかが重要。

**鎌倉課長** 記載方法について検討する。実施段階で先進地の事例を研究し取り入れたい。

**小平雅彦委員** 1-1-6の②にペットのフンも含めた内容にしてはどうか。

**伊藤幸徳委員** 空き缶や弁当のごみの農地への不法投棄や農薬の不法投棄もあるので、条例の周知をぜひお願いしたい。

**長谷川寛委員** 4月から不法投棄は条例違反となることをきちんと周知する必要がある。

**鎌倉課長** 1-1-6に④としてペットのフン害対策を追加したい。記載内容は検討させてほしい。

**五味光亮委員** 1-2-4の基本方針の2番目に「農業用プラスチックについては、単に焼却処分するのではなく」と記載されているが、これでよいか。見直しが必要では。

**小林課長** 確認して、検討します。

**五味光亮委員** 1-3-2について、実施に公共施設で取り組んでいるか。

**細川課長** 1-3-1の③に記載のとおり、温室効果ガスについては5%の削減目標に対して12.8%削減した。現状以上の削減を目標としている。

**五味光亮委員** どのような方法で削減したのか。

**細川課長** 公共施設ごとの設定温度や節電、公用車のハイブリット化などが主な取り組みである。

**五味光亮委員** 温度設定は痛みを伴うが、蛍光灯のLED化やスイッチの細分化など痛みを伴わない方法もあるので、検討してみてはどうか。

**細川室長** 蛍光灯のスイッチの細分化については、庁舎改修工事の際に実施した。蛍光灯のLED化については、価格が高いので様子を見たい。

**小平雅彦委員** 1-3-2の②は分かりにくい。どういう内容か。

**細川室長** 公民協働で省エネを導入するために、行政と民間双方に推進組織を設ける。

**小池啓男委員** 「理解普及のための」を削除するなど、分かりやすい言葉に修正してほしい。

1-2-3の①について、生ごみの堆肥化は進んでいない。説明会のやり方を工夫したり、講師を招いての勉強会や検討会などを含めた内容に修正すべき。例えば「地区住民説明会」に「等」を加えるとか。

**小平雅彦委員** 1-2-3①の生ごみの堆肥化については、仕組みづくりが必要。

**鎌倉課長** 文言を検討する。

**小池啓男委員** 1-4-3の③はどういうことか。

**鎌倉課長** 1,000㎡以上のところは現行の方式でよいが、既存集落などの狭いところはやむを得ない。長野県方式は宅内処理による地下浸透で、トレンチ面積は原村方式の半分以下。住民の理解が得られれば、地下浸透及び放流を検討する。

**長谷川寛委員** 既存集落では、原村方式は現実的に難しいということか。

**鎌倉課長** そのとおり。

**長谷川寛委員** 排水処理方法の検討とルールづくりが必要だ。

**五味光亮委員** 現在の原村の方式は特殊か。

**鎌倉課長** 特殊である。国は河川放流が原則、できなければ地下浸透としている。

**小池啓男委員** 1-4-4の③は決定しているのか。

**鎌倉課長** 審議会において、3年ごとに見直しすることとなっている。

**木下貞彦会長** その他になれば、消防室分を除いた第5項から第7項の審議に移ります。

**長谷川寛委員** 1-5-3の①と③は、本当にやるのか。

**鎌倉課長** ①は条例で規制をかける。③の都市計画法については、将来に向けた取り組みである。周辺市町では、景観行政団体に移行する動きがある。村独自で景観条例をもつ必要性が出てくるかもしれない。その際は、都市計画法の有無が強制力に影響する。

**長谷川寛委員** 建ぺい率等、現行の規制では規制していないところがある。適正な住環境を見越した規制を実施してほしい。

**鎌倉課長** 環境保全条例を改正して対応することを考えている。都市計画法は、将来に向けて検討するだけである。

**小池啓男委員** 1-6-2の具体的な施策の成果の⑤については、地元と協議したのか。

**鎌倉課長** 協議した。記録も残っている。一部の地権者からの同意が得られないため、用地が確保できない。

**小池啓男委員** まだ歩道設置の要望があるのも事実。区の対応が間違っていたため、地主が反対している。

**伊藤幸徳委員** 中新田も難しい状況だ。「進まないのは県道沿いの人が土地を提供しないからだ」というような声もあるが、それぞれの家に事情があるので、配慮してほしい。現実的には難しい。

**五味光亮委員** 仮に難しくとも計画からはずすことはいかがなものか。

**鎌倉課長** 県でも、庚申森から公民館入り口までの間において、北側を拡幅して歩道を設置することで区に提案している。要望は、道路の両側ででている。

**小池啓男委員** 1-6-2について、これまでは県道整備は県が中心となって整備を進めることとなっていたが、今回の計画（案）では県と連携して進めることとなっている。村が中心的な役割を果たすのか。

**鎌倉課長** 県は、条件を提示している。実施にあたっては区にご尽力いただくことになるので、県と連携して進めるという表記にした。

**伊藤幸徳委員** 1-6-1①について、陸の孤島にならないように、道路の新設を考えているか。

**木下厚委員** 柏木新道から宮川坂室までの間が狭いが、計画はあるか。

**鎌倉課長** 茅野市で区画整備に合わせて整備する計画がある、と聞いている。

**木下厚委員** ぜひ、進めてほしい。

**伊藤幸徳委員** 悠生寮の北側は何とかならないか。降雪のたびに事故が発生している。

**小林庄三郎委員** 矢ノ口信号機から阿久へ抜ける幹線道路を作ってはどうか。

**鎌倉課長** 坂室バイパス開通後の動向を見ながら考えたい。

**小倉佳美委員** 1-6-6の公共交通について、本運行に向けて利用促進のための取り組みが必要では。

**細川室長** 中学生への普及を計画している。セロリン号の昨年10月から12月の3ヶ月間の利用状況は日平均28.9人。利用が少ない原因の究明を検討している。

**小倉佳美委員** パークアンドライド、キスアンドライドとは、どういう意味か。分かりやすく表記すべき。

**細川室長** 利用形態を表しているが、分かりやすい言葉に修正したい。

**長谷川寛委員** 福祉有償運送の表記がなくなったのはなぜか。

**細川室長** 実施していることからはずした。

**小池啓男委員** 1-7-8について、危険箇所パトロールの結果が周知されていないので、住民への周知を追加してほしい。

**木下貞彦会長** その他にありますか。(なし)

それでは、本日の審議は終了します。次回は、第1節第7項の消防室分と第5節を審議し、審議会としての意見をまとめて村長に答申する予定である。事務局から何か連絡事項はあるか。

**事務局伊藤** 第1回の審議会でも説明させていただいたが、答申内容を検討していただくにあたり、事務局から答申(案)を提示させていただきますが、あらかじめ委員のみなさまのご意見等を把握したうえで案を作成します。報告様式は開催通知書に同封しますので、19日までに提出してください。

次回の審議会は、22日火曜日の午後1時30分からこの会場で行ないます。

(4) 閉会 池副会長

第4次原村総合計画後期基本計画(案) 第4節修正箇所一覧表

節・項	意見	修正内容
4-2-5	○現状と問題点に、台湾・韓国などヘインバウンド事業とあるが、中国を加えたほうがよいのでは。	変動要因、具体的施策の修正を検討
	○むしろ、国を限定する必要はないのではないか。	
	○八ヶ岳観光圏について、小淵沢町は市町村合併により北杜市となりぼけてしまった中で、原村に何をしに来てもらうのか、目玉がない。	計画に反映できないか検討する
	○農場は人気があるので、前面に出してみたらどうか。	
	○阿久遺跡との連携を考え、縄文人が見た山として（八ヶ岳の景観を）PRしたらどうか。	
	○春の空はエメラルドグリーンに見える。天気がよければ（八ヶ岳の）稜線がきれいに写る。	
	○農場のイメージは強いが、自然を楽しむだけでは観光客は来ない。イベントとの組み合わせが必要。農場とタイアップしてイベントを多数企画すべき。	
○外国人観光客は有名な所に行くが、宿泊はどこでもよい。		
4-5-2	○特産認定制度を設けるのはよいが、検討しますは消極的。検討ではなくもう一歩進める表現にしてほしい。	具体的な施策③の修正を検討

第4次原村総合計画後期基本計画(案) 第1節修正箇所一覧表

節・項	意見	修正内容
1-1-4 1-1-6	<p>○1-1-4のポイ捨て防止について、4月1日から不法投棄防止条例が施行になる。条例の周知や広報を計画に明記した方がよい。1-1-4の②と1-1-6に追加することを検討してほしい。</p> <p>○1-1-6について、ペットのフン、特に夜の散歩のマナーが悪すぎる。通学路や道路に面している家の木戸口はフンだらけ。飼い主に対して何かできないか。</p> <p>○空き缶や弁当のごみの農地への不法投棄や農薬の不法投棄もあるので、条例の周知をぜひお願いしたい。</p>	<p>条例施行の周知について修正や追加を検討</p> <p>ペットのフン害対策について、追加</p>
1-2-3	<p>○(具体的施策)①について、生ごみの堆肥化は進んでいない。説明会のやり方を工夫したり、講師を招いての勉強会や検討会などを含めた内容に修正すべき。例えば「地区住民説明会」に「等」を加えるとか。</p> <p>○(具体的施策)①の生ごみの堆肥化については、仕組みづくりが必要。</p>	<p>文言を検討し、修正</p>
1-2-4	<p>○基本方針の2番目に「農業用プラスチックについては、単に焼却処分するのではなく」と記載されているが、これでよいか。見直しが必要では。</p>	<p>確認し、検討</p>
1-3-2	<p>○(具体的施策)②は分かりにくい。どういう内容か。</p> <p>○「理解普及のための」を削除するなど、分かりやすい言葉に修正してほしい。</p>	<p>文言を検討し、わかりやすい言葉に修正</p>
1-6-6	<p>○パークアンドライド、キスアンドライドとは、どういう意味か。分かりやすく表記すべき。</p>	<p>文言を検討し、わかりやすい言葉に修正</p>
1-7-8	<p>○危険箇所パトロールの結果が周知されていないので、住民への周知を追加してほしい。</p>	<p>追加を検討</p>



第4回原村振興計画審議会 第4節に対する参考意見

項目	参考意見
森林活用 (4-2-3)	○ミヤマシロチョウの生息場所については調査中であるが、限られてきている。生息するための森林整備が必要となっている。間伐を兼ねた体験学習はできないか。 ○森林の目的をもう一度考えてみる必要がある。
下流域と交流 (4-2-3)	○根羽村では、下流域の人たちと交流している。交流を促進している都市に絞ってもよいのでは。 ○川と海との連携を考えてみてもよい。
地域資源活用 (4-2-4)	○原村の資源を見るときに広い視野が必要。2-3-1に記載されている教育関係施設との連携も必要。郷土資源の活用も必要。 ○文化園で土器を展示してもよいのでは。
インバウンド (4-2-5)	○原村だけの集客は難しいが、宿泊の拠点でもよいのでは。農場や夏場の農業との結びつきが重要。欧米ではキャンプを好むので、必ずしも部屋にバスやトイレがなくてもよい。
観光協会 (4-2-5)	○観光協会の弱体化が進んでいるのでは。体質強化を図るためには、行政のテコ入れが必要。お金だけ出せばいいというものではない。組織内部の問題もあったかもしれないが、まとまらないと活力が出ない。他の観光協会を調べてみることも大切。 ○利益誘導が公平に行き渡らなかったことが原因と聞いている。どうあるべきか問うことから始める必要がある。行政は、よく話を聞いてほしい。 ○「はらむら物語りで紹介されているから観光協会に入らなくてもよい」という声があるが、誰がリーダーシップをとるのか。
観光拠点 (4-3-1) 野菜でPR (4-2-2)	○文化園の位置づけを十分考えていかなければならない。特に、リーベでは原村産の新鮮な野菜が食べられるなどの取り組みで、農作物をPRしてみてもどうか。文化園を核とした農産物の発信も重要。そこでプランを提供することは意義がある。 ○色々なニーズにあった野菜の提供が必要。契約ほ場も必要では。 ○味わっておいしければ買っていき、リピーターになる。おいしく食べさせる工夫も必要。こる必要はなく、素材のよさが重要。
企業誘致 (4-4-2)	○企業誘致の補助金は見直した方がよい。色分けに大した根拠がない。

第4回原村振興計画審議会 第1節に対する参考意見

項目	参考意見
ポイ捨て防止 (1-1-4)	○看板の設置など、効果的な取り組みを行なっているところもあるので、調べてみてはどうか。条例の周知をぜひお願いしたい。
フン害 (1-1-6)	○どのようにして被害を減らすかが重要。 ○4月から不法投棄は条例違反となることをきちんと周知する必要がある。
省エネ (1-3-2)	○温度設定は痛みを伴うが、蛍光灯のLED化やスイッチの細分化など痛みを伴わない方法もあるので、検討してみてはどうか。
生活排水処理 (1-4-3)	○(浄化槽の)排水処理方法の検討とルールづくりが必要だ。
環境規制 (1-5-3)	○建ぺい率等、現行の規制では規制していないところがある。適正な住環境を見越した規制を実施してほしい。
歩道設置 (1-6-2)	○まだ歩道設置の要望があるのも事実。(やつがね)区に対応が間違っていたため、地主が反対している。 ○中新田も難しい状況だ。「進まないのは県道沿いの人が土地を提供しないからだ」というような声もあるが、それぞれの家に事情があるので、配慮してほしい。現実的には難しい。
道路体系 (1-6-1)	○柏木新道から宮川坂室までの間が狭いが、計画はあるか。ぜひ、進めてほしい。 ○悠生寮の北側は何とかならないか。降雪のたびに事故が発生している。 ○矢ノ口信号機から阿久へ抜ける幹線道路を作ってはどうか。
公共交通 (1-6-6)	○本運行に向けて利用促進のための取り組みが必要では。